

平成24年度 活動報告

I 会議等

1 総会の開催

- ①日程 4月27日(金)
- ②場所 豊岡商工会議所会議室(じばさん但馬6階)
- ③記念講演
 - (1) 知的資産経営の概論
 - 演 題 知的資産経営のすすめ
 - 講 師 OCSコンサルティング 中小企業診断士 伊藤 康雄 氏
 - (2) 知的資産経営報告書作成の事例発表
 - 発表者 日本精機宝石工業(株)〔新温泉町〕代表取締役社長 仲川和志氏
- ④その他 懇親会を開催

2 役員会の開催

- ①日程 第1回4月11日(水)、第2回5月21日(月)、第3回6月15日(金)、第4回7月11日(水)、第5回8月24日(金)、第6回9月28日(金)、第7回11月20日(火)、第8回12月13日(木)、第9回2月7日(木)
- 臨時会 3月 5日(火)

II 情報提供・情報発信事業

1 各種補助金制度、各種セミナー、各種産業フェア等の周知

- ①国・県等の各種補助金制度を集約し、適宜、会員にメール等で周知した。(主なもの)

2012/4	豊岡市技術革新等支援補助金
2012/7/4	再生可能エネルギー賦課金の減免制度について
2013/1/31	自家発電設備導入緊急対策費補助金
2013/2/1	電気料金値上げ対策、試作開発・設備投資【概要事前情報】
2013/2/8	イノベーション実用化ベンチャー支援事業
2013/3/18	円高・エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業費補助金 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金

- ②他の団体や機関等が実施する各種経営セミナーや産業フェア等を適宜、会員にメール等で周知した。

【講演会・セミナー】(主なもの)

2012/5/9	(6/6) グローバルセミナー	豊岡市
2012/6/20	(7/9) 第5回豊岡市ものづくりセミナー	豊岡市
	(7/23) 21世紀播磨科学技術フォーラム第43回セミナー	姫路市
2012/8/15	汎用旋盤加工実習基礎コース	豊岡市
2012/9/6	(9/26) ビジネスづくりセミナー	豊岡市
2012/11/5	(11/16) 技術セミナーin但馬	豊岡市
2012/12/27	(1/22) ものづくり技能・技術伝承セミナー	神戸市
2013/2/18	(3/1) 第7回豊岡市ものづくりセミナー	豊岡市

【産業フェア・商談会】

2012/4/13	(9/6-7) 国際フロンティア産業メッセ 2012 (出展案内)	神戸市
2012/5/9	(5/30-6/1) 中小企業総合展 2012 in KANSAI	大阪市
2012/8/31	(9/6-7) 国際フロンティア産業メッセ 2012 (開催案内)	神戸市
	(10/2-4) 名古屋プラスチック工業展・機能材料技術展 2012	名古屋市
	(10/3-5) 関西設計製造ソリューション点・関西機械要素技術展	大阪市
2012/10/23	(5/29-5/31) 中小企業総合展 2013 in KANSAI	大阪市
2012/12/19	(3/19) 但馬取引商談会 (発注企業募集)	朝来市
2013/2/18	(3/19) 但馬取引商談会 (受注企業募集)	朝来市

2 省エネセミナーの開催

会社全体で省エネを進めるには、データ・業務・ルールを「見える化」し、エネルギー損失を整理することが重要。また、節電活動は【漏れ点検】【清掃不良点検】【設定過剰点検】など、テーマを決めて総点検すること、短期決戦が効果的である事を学んだ。

- ①日程 6月25日(月)
- ②場所 豊岡商工会議所会議室
- ③講師 一般財団法人 省エネルギーセンター 小原幸雄氏
- ④参加者数 24名

3 会員企業プレゼン大会の開催

会員企業でもどのような製品を作っているのかわからない…。そのような会員の声がある中、自社の事業内容や取り組みについて紹介する機会とし、会員企業やその他市内企業との交流およびビジネスマッチングのきっかけづくりとした。(プレゼン大会の観覧はオープン参加。)

- ①日程 7月26日(木)
- ②場所 豊岡市民会館4階大会議室
- ③発表企業 会員企業8社
- ④参加者数 53名(うち一般15名)
- ⑤その他 プレゼン大会後懇親会を開催

4 工業会ホームページの開設

工業会の活動を広くPRし会員拡大に努めるとともに、会員の技術や製品を紹介し受注の機会を増大することを目的に、工業会のホームページを開設した。

III 調査・事例研究事業

会員企業見学会の開催

豊岡市内のほかの企業がどのような製品を作っているのか…。普段はなかなか実現が難しい企業間の見学会を通じ、市内企業同士の交流及びビジネスマッチングのきっかけづくりとするため、会員企業見学会を開催した。

- ①日程 10月18日(木)
- ②見学先 (株)東豊精工本社工場、(株)ウィック神美工場
- ③参加者数 会員企業9社17名

④参加者の声

【株東豊精工の見学】

- ・ばねは棒に巻きつけて作るものだと思っていたため、マルチフォーミングを使用した生産工程を見学させて頂いた事は大変勉強になった。
- ・現場の方々の挨拶が大変気持ちよく見習う点が多々あった。

【株ウィックの見学】

- ・見学前に工場長様より工場が汚い事を言っておられたが、機械や製品などがきっちりと整理されており、むしろ大変きれいな印象をもった。
- ・5Sが行き届き工場管理に注力されている様子が伺えた。案内もとても親切だった。
- ・工具類に表示があり、3定(定位置、定品、定量)ができていた。

IV ものづくり支援事業

1 試験研究用機械器具使用補助金

工業会会員の試験・研究活動を促進するため、(公財)京都産業21北部支援センター等の試験研究用機械機器設備等の使用料の一部(対象経費の20%)を助成した。

- 平成24年度実績 2社

2 QC(品質管理)活動セミナー開催

製造業の品質管理分野に対する要求が厳しくなっている中、会員企業の課題解決の一助とすべく、「品質保証」や「歩留まり改善」などの必要性を学ぶセミナーを開催した。

①日 程 8月24日(金)

②場 所 豊岡商工会議所6階会議室

③参加者数 市内企業21名

④参加者の声

- ・企業間競争に負けないように品質の向上また、チャレンジ精神を高めていかなければならないと痛感した。
- ・QC活動を行なうことによって社員一人一人の責任感やスキルアップの向上につながり、その事が企業が成長していくために重要。
- ・職場の現状で抱えている問題を提起し、その問題について皆で話し合っていくことが必要だと実感した。
- ・各課においてサークル活動を実施しているため、もう少し小集団の活動を進めて行きたい。

3 企業技術(現場改善)見学会の開催

他都市の先進企業を見学して先端技術や経営戦略を学び、自社の技術革新のきっかけづくりとするため、また、工場革新の手法の1つである“ポルフ”導入の先進的な企業を見学し、自社の現場改善の参考とするため、企業技術見学会を開催した。

①日 程 11月29日(木)~30日(金)<1泊2日>

②視察先 ミツ精機(株)、大昭和精機(株)及び(株)コスミック

③参加者数 会員企業+事務局 11名

④参加者の声

- ・3社とも、会社の工場や事務所等施設の整理整頓が素晴らしく、改めてその重要性を思い知らされたと同時に、自社でできることがたくさんあると気づかされた。
- ・非常に勉強になり、よい刺激になった。自社の改善活動に生かしていきたい。

- ・ 昨年の大企業と異なり、中小企業の見学だったので、親しみが持てたのでは。

4 知的資産経営専門セミナー

技術、工夫、人材、協力先など「見えない資産」をステークホルダーに「見せる化」する「知的資産経営報告書」の制作を見据え、専門セミナーを開催した。参加企業は自社の強み・弱みなどの分析を行い、自社をいろいろな視点で分析し、自社の強みを伸ばす経営レポートの制作に取り組んだ。

- ①日 程 7月13日(金)、7月30日(月)、8月21日(火)、
- ②場 所 豊岡商工会議所会議室他
- ③参加企業 3社8名

V マーケティング支援事業

国際フロンティア産業メッセ(たんざん産業メッセ)への参加

工業会会員の製品等を広く周知し、取引拡大を目指し、標記展示会の出展費の補助を行った。

- ①日 程 9月6日(木)～7日(金)
- ②会 場 神戸国際展示場(神戸ポートアイランド)
- ③参加企業 2社

VI 会員間交流事業

新春交流会の開催

普段の交流が十分でないため、会員間相互の情報交換・交流の場とするとともに、構造的な今日の不況を歴史的観点から見つめなおし、今後の予防策を模索する講演会を開催した。

- ①日 程 1月24日(木)
- ②会 場 豊岡商工会議所(じばさん但馬6階)会議室ほか
- ③内 容
 - ・ 会長年頭挨拶
 - ・ 記念講演
【講師】兵庫県立大学大学院工学研究科 准教授 本田逸郎氏
【演題】構造的な不況の要因とその対策
 - ・ 活動報告会
 - ・ 新春懇親会

④参加者数 40名(懇親会42名)

⑤参加者の声

- ・ 本田先生が特異なのか、大学関係の方としては久しぶりに心踊る話の内容で、技術者としては大変よい講演だった。若い人に聞いてもらいたい。官僚批判はその通り！市幹部も聞けるところが多いかも。実績主義・業績主義ばかりではダメという事を気づいてほしい。また、見極める能力 up を合わせて。
- ・ 技術力の強化について、近い将来のことを考え、今から取り組む必要があると感じた。
- ・ 世界から見た日本の「モノ作り」の強みを、歴史をふまえてわかりやすく聞かせていただいた。最後のほうの日本人としてのモノ作りに対する思いの部分をもっと深く聞きたかった。
- ・ 中小企業に大変大きなエールを送られたと思った。もっと多くの方に聞いてほしい良

い講演であった。

- ・本田先生のすばらしい講演は大きな励みになったし、これからの我々が目指す方向性を示していただいたので大変有意義である。
- ・会員企業の交流をもっと頻繁に！
- ・若手経営者の現在成長されている企業の話を知りたい。
- ・会員企業プレゼン大会、見学会を継続して行っていただきたい。
- ・雇用促進に関するセミナー。地元の高校生、地元出身の大学生への積極的なアピール。
- ・会員企業さんのそれぞれの活動内容を知りたい。
- ・市内の高校と連携した事業（例：SSH 事業）。市内の企業を知ってもらい、そして市内で働きたい！という気持ちにさせる。
- ・人材育成方法。「実際に指導を行っている現場の技術者からの講演」
- ・他の工業会などの交流会も企画していただきたい。
- ・技術力 UP セミナー等。市況の情報発信。

VII その他支援事業

1 ものづくりセミナー

市が主催するセミナーに会員企業への参加周知等を行なった。

<第1回> 7月9日（月）

「ショットピーニングによる新しい表面改質技術」

<第2回> 11月16日（金）※技大セミナー

「変わらぬ構造的不況」

「ものづくりにおける金属材料の多様性とその活用」

「めっき技術の応用とナノ構造解析」

「スパッタリング法による成膜技術と応用」

「毛髪より細いドリル、さて、どう使うか？」

<第3回> 3月1日（金）

「切削加工におけるバリの生成メカニズムと抑制・除去技術」

2 その他

兵庫県立但馬技術大学校並びに但馬労働基準協会の主催する企業在職者を対象とした下記職業訓練「汎用旋盤加工実習基礎コース」について会員企業へ参加周知を行なった。